

あ　と　が　き

「核データニュース」No.5 (通巻41号)をようやくお届けできるようになりました。“ようやく”と言いますのも、本号は遅くも昨年の11月初旬に発行する予定でしたが、諸々の事情により約3カ月も遅れてしまいました。深くお詫び致します。とくに、御多忙のところを締切りを守って執筆して下さった方々には誠に申しわけなく思っております。大巾に遅れたことの大半の責は、編集係の1員である私に帰するものです。昨年12月はじめに、私が専門家会議等の出席のため約2週間ほどヨーロッパへ出張したことによる空白にあります。出かける直前に原稿を整理して印刷へ廻す段取りでいたところ、出かける準備に忙殺され、しかも予定の原稿が碰わないこともあって引き継ぎを頼むいとまもなく出発してしまった次第です。原稿を早々とお送り下さった東北大の楢山さんと北大の井上さんには重ねて深くお詫び申し上げます。

約3カ月も原稿を寝かせてしまったために、川合さんの文は速報性の点からは些か時期遅れになってしまいましたが、内容は少しも色禍せることはないのでお許しいただきたいと思っています。また、更田さんのIAEAの原子分子データ会合の報告文もニュースとしては此か旧聞に属するものあえて載せることにしました。と言うのも、シグマ研究委員会のcommunityでは原子分子データはまだ馴じみの薄いものですが、核融合研究の急速な進展に伴って国際的には核データと原子分子データとの距離は狭まりつつある現状から見て、核データの分野の方々にも原子分子データの動向を知っていただくことも必要かと考えたからです。このような企画についても御意見をいただきたいと存じます。

(浅 見)

編集者 更田豊治郎
浅見 哲夫
大竹 幸江